

# 高すぎる国民健康保険料は引き下げよ

一般質問

## 保険証がなくて治療を中断し死亡 57歳男性

ふしき県議は、男性Aさんの例をあげて、「保険証1枚でだれもが安心して医療が受けられる国民皆保険制度が危機的な状況になっているのではないか」と指摘しましたが、三日月知事は「こうしたケースは生じにくい」と冷たい答弁に終始。

一般質問で、国保加入世帯の7割が所得200万円以下の低所得者世帯であることが明らかになりました。ふしき県議は「高すぎて払いたくても払えないという構造的な問題がある」とし、「滞納世帯への窓口で全額負担しなければならない資格証の発行をやめよ」と迫りました。



「いのちと暮らしを守る県政署名」を提出

11月県議会には国保料の引き下げなどを求めた「いのちと暮らしを守る県政署名」11,816筆が寄せられています。県民の願いに応じて、保険料引き下げのために、国の保険者支援金(1人5,000円)をつかうこと、県独自に1人1万円の引き下げをおこなって、「住民の福祉の増進」という地方自治体の福祉と暮らしを守る役割を果たすことを強く求めました。

今年の8月大津市内で国民健康保険証をもっていなかった57歳の派遣労働者の男性Aさんが治療を中断し死亡。6年前、近くの診療所で血圧を下げる薬を処方され、飲まなければ180を超える高血圧になると。

派遣などの非正規職場を転々としていた男性は、昨年11月末の転職後は「月16000円もの国保料は払えない」と無保険になり病院から足が遠のいていました。

無保険で医療費が1回1万円にも。薬をのまなかったことが突然死の原因とみられています。

## 駅のバリアフリー化を

## JR近江舞子駅、新旭駅、強力に取り組むと答弁

高架駅である湖西線蓬萊駅以北の駅のバリアフリー化は、そこで暮らす住民の切実な願いです。大津市議会にも2度にわたって請願もだされました。バリアフリー法における1日あたりの駅の乗降客が3000人以上ですが、満たない駅であっても、交通・移動の権利を保障するために人権保障の立場で取り組むことが大事です。ふしき県議は、知事がJR近江舞子駅、新旭駅のバリアフリー化の推進を鉄道事業者につよく働きかけるよう求めました。知事は「関係市町とともに強力に取り組んでいく」と答弁。引き続き、実現を求めています。

## 戦争法廃止、福祉・教育の充実など多くの請願が寄せられています。

11月県議会に寄せられた請願は10件。9件は、日本共産党が紹介議員になっています。「しーこぶ。」からの請願は「チームしが」も紹介議員に。採択にむけ各委員会でも賛同を呼びかけています。

- いのちと暮らしを守る県政について
  - ・子どもの医療費無料化、・国保保険料引き下げ
  - ・介護保険の保険料・利用料軽減、特別養護老人ホームの建設
- 看護・介護労働者の腰痛対策を
- 安保法制の廃止を求める意見書を(しーこぶ。)
- 同上 (新日本婦人の会)
- 教育予算の増額でゆきとどいた教育を
- 治安維持法犠牲者の国家賠償法の制定を
- 地方自治を尊重し、辺野古新基地建設を強行しないことを求める意見書を
- 高浜原発3.4号機の再稼働をしないことを求める意見書を

みちよの  
かけ歩き(記)

### いのちと暮らしを守る県政署名、

### 切実な願いに、共産党以外が反対

12月14日の厚生・産業常任委員会で、「いのちと暮らしを守る県政について」の署名が審議。私は「どれも切実な要求。ぜひとも賛同を」と呼びかけました。公明党の県議は、「内容は素晴らしいが、中学校まで(医療費無料化)一気に無理。滋賀国体(予算)をまわすものも無理がある」と。チームしがの県議は「財政措置はきびしい。制度が持続されるようにしなければ」、自民党の県議は「請願として認められない。請願の形ではない。何をいいたいのかわからない」と。県民の請願権そのものを否定するような発言までおこなわれました。県民のくらしの大変さを本当に知っているのかと怒りがこみ上げてきました。委員会では共産党以外の会派が反対しましたが、21日の閉会日にむけてさらに署名をお寄せください。  
(ふしき)

ふしき事務所バザーのご協力をありがとうございました。